

☆不安全行動防止対策をやっていますか？

★災害発生の要因は、

「不安全設備」「不安全行動」「管理の欠陥」に大別され、この3つが複合しています。従って、「不安全行動」を防止することは、災害防止にとって重要であるといえます。

★なぜ、不安全行動するのか？その対策は？

1. 危険に対する知識が不足している（知らない）



適切な安全指示と安全教育が有効です。

- ①安全指示⇒ 作業開始前に危険有害要因を明らかにし、その防止対策を指示。
- ②安全教育⇒ 作業手順の教育、新規入場者教育等を安全教育の実施。
- ③KY活動 ⇒ 多くの発言を引き出しグループの知識レベルを向上。

2. 安全作業を行う為の技能が未熟である（できない）



特に危険作業においては、適切な技能を有した作業員の配置が重要です。

- ①適正配置⇒ 未経験者と熟練者のペア、高齢者の適正配置。
- ②有資格者⇒ 技能を有した資格者の配置。

3. 安全への意欲が欠けている（やらない）



職場の全員の意欲向上には、現場全体の雰囲気、結束向上等の動機付けが大きく影響します。

- ①統一ルール⇒ 現場にあるルールは、みんなで守るというモチベーション作り。
- ②KY活動 ⇒ 出された危険から対策を決定し、グループの結束力を向上。
- ③一声掛け⇒ 名前を呼び合い、気軽に話し合える雰囲気作り。

4. 人の特性（ヒューマンエラー）



「うっかり」「ぼんやり」のミスに対して、ミスを防ぐだけでなく、ミスが起きても災害にならない対策が重要です。

- ①多重安全⇒ ミスしても災害が防げる工夫と改善をする。
(例えば、安全ネットの増設や2丁掛安全帯の使用)
- ②安全教育⇒ ミスが起るケースを精査し、ミスの発生を低減する。

◆見逃すな「不安全行動と不安全な状態！」

【一言】不安全行動防止のためには、現場に即した活きた活動が有効と
思われます。今日も心のこもった指導をお願いします。